

■「おおたか」の説明を受ける募集対象者

# ミサイル艇「おおたか」 出島 来港



第3ミサイル艇隊（司令小佐田基史 2等海佐）のミサイル艇「おおたか」（艇長河野大輔 3等海佐）は、10月20日（水）から10月21日（木）までの間、協力団体の歓迎を受け、業務のために長崎港出島岸壁へ来港した。

近年のコロナウイルス感染症拡大の影響により、長崎港出島岸壁への来港は1年ぶりであった。本来港に当たり、10月21日、長崎地本（本部長 江上昌利 1等海佐）はミサイル艇「おおたか」の支援を受け、募集対象者等に対する特別公開を実施した。

ミサイル艇「おおたか」隊員による熱心かつ丁寧な説明に参加者は興味深い表情で耳を傾けていた。

なお、参加した大学3年生の学生は「来年、幹部候補生を受験する予定です。」と力強く述べ、受験意欲の向上に効果が出た模様であった。

長崎地本は、コロナウイルス感染症の状況下、長崎県内の多くの若者に自衛隊に対する理解を深めてもらい、一人でも多くの志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努める。

（募集課）



■協力団体の歓迎を受け、長崎港出島岸壁に入港するミサイル艇「おおたか」



発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
Tel. 095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

## INTERNSHIP 大学生向けインターンシップ実施



■背のうを体験(水陸機動団)



■居室見学(陸幹候校)



■剛健大講堂見学(陸幹候校)

長崎地本（本部長 江上昌利 1等海佐）は、10月3日（日）、陸上自衛隊幹部候補生学校と水陸機動団の全面協力のもと、大学生向けインターンシップを実施した。本企画は、大学生に自衛隊の職場や仕事内容について興味を持ってもらうことを目的として開催され、長崎地本においては今回が初めての開催となった。

主なプログラムとして施設や装備品の見学が組まれ、県内在住の大学生等27名が参加した。

陸上自衛隊幹部候補生学校（学校長 藤岡史生 陸将補）では、参加者が剛健大講堂にて説明を受けたのち、史料館や教場、生活隊舎を見学し、食堂にて昼食を体験した。水陸機動団（团长 平田隆則 陸将補）では、緊急脱出訓練場や偵察ポート、水陸両用車などを見学した。見学の途中では、参加者は隊員に促され、展示されている背のうを持ち上げようと苦戦する様子も見られた。隊員らは、重さ数十キロにもなる背のうを軽々と持ち上げてみせ、参加者から感嘆の声が上がった。

終盤には、学生代表からサプライズで感謝の言葉が述べられた。学生代表は、「普段目にするのではない自衛隊の様子を知ることができた。これからは進路の選択肢として自衛隊を考えた。いと述べ、隊員一同は喜びの表情を浮かべていた。プログラムを終えた参加者からは、「史料館見学で感銘を受けた。ぜひ採用試験に挑戦してみたい。」「大学から幹部自衛官になりたい。」「大学から幹部自衛官になり勤務していくイメージが湧いた。」との感想も聞かれるなど、我々も圧倒されるほどの盛況ぶりであった。

長崎地本は、大学生も含め、多くの若者から自衛隊の仕事を理解してもらえよう、今後も積極的な募集広報活動に努める。

（募集課）



■学生から感謝の言葉(水陸機動団)



■車両の見学(水陸機動団)



国家を守る、  
公務員。  
自衛官募集中

■お礼の言葉



■真剣に話を聴く生徒たち



諫早市内中学生へ

# 職業講話

リクルーター大活躍

長崎地本諫早地域事務所（所長 謝良彦 2等陸尉）は、10月15日（金）に諫早市立真城中学校で開催された職業講話（同校主催）に参加した。この職業講話は、「実際に現場で働く人」から仕事の内容や実情等について話を聞き、生徒に働くことの意義や目的をしっかりと学び、考える機会を与えるために開催されたもので、長崎地本の他にも多くの企業、消防及び専門学校が参加し、講話を実施した。

長崎地本の講話では、諫早地域事務所長が自衛隊の職務全般について説明した後、リクルーターとして、第16普通科連隊重迫撃砲中隊の宮崎圭太1等陸士と第4施設大隊本部管理中隊の梅崎玲1等陸士の2名が支援し、自衛隊への入隊動機や仕事内容等を紹介した。講話中、生徒たちは終始耳を傾けメモを取るなど熱心な様子も伺え、自衛隊に興味を示したようであった。特にリクルーターとの質疑応答では「一番きつい訓練はなんですか?」、「訓練できつい時、どうやって乗り越えていますか?」、「睡眠時間はどれくらいですか?」、「肩につけているのはなんですか?（階級章のこと）」等々、様々な質問が飛び交ったが、宮崎1士及び梅崎1士は、時にユーモアを交えながら丁寧に質問に応じ、終始和やかなムードであった。

最後に生徒から「自衛隊の仕事について知ることができた、特に現場で働く人の話を聴くことができて、本当に勉強になりました。」とお礼の言葉があり、職業講話を終えた。

諫早地域事務所は今後も募集広報活動を積極的に行い、自衛隊への関心を高め募集に繋げられるよう努めていく。

今回、リクルーターとして参加していただいた宮崎1士及び梅崎1士、また、リクルーターを派遣していただいた第16普通科連隊重迫撃砲中隊及び第4施設大隊本部管理中隊にも心より感謝いたします。

（諫早地域事務所）

## 定年退職



### 長崎募集案内所 赤波江 真治 准尉

今後、一人でも多くの若者が自衛官という職業の魅力を理解して志願してくれることを祈念しつつ、日夜、募集活動に全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（募集課）

長崎地本募集案内所 所長 赤波江真治 准尉は、10月7日（木）付で、約36年の自衛官生活を終了し定年退職を迎えた。昭和60年8月から、第111教育大隊（別府）での新隊員前期教育を皮切りに、第11普通科連隊第2中隊（東千歳）、第26普通科連隊第2中隊（留萌）、第16普通科連隊第4中隊（大村）、自衛隊長崎地方協力本部琴海地域事務所、同長崎募集案内所において勤務した。

10月8日（金）からは、再任用となり自衛隊長崎地方協力本部長崎募集案内所の所長として引き続き国防の任に就き活躍を続ける。



## 医師・保健師・看護師を目指す 防衛医科大学試験始まる!

長崎地本（本部長 江上昌利 1等海佐）は、10月16日（土）に防衛医科大学（看護学科）学生試験及び10月23日（土）に防衛医科大学（医学科）学生試験を実施し、県内から総数151名が、それぞれの試験を受験した。



防衛医科大学は、昭和48年に創設され「医師である幹部自衛官」となるべき者の教育訓練を任務とし、教育が開始され、その後、その任務に「保健師及び看護師である幹部自衛官」となるべき者の教育訓練が加わり、平成26年4月4日に、4年制の看護学科を開設、以降、6年制である医学科の卒業生は2千735名（令和2年3月卒業の第41期生まで）、看護学科の卒業生は、212名（令和2年3月卒業の第3期生まで）に達している。



近年では、国際平和協力活動や災害派遣を含む各種事態への対応など自衛隊の任務の増大に伴い、自衛隊の医官、保健師及び看護師の活動も多様化かつ広域化しており、自衛隊衛生を担う卒業生は自衛隊の組織に赴任後、幅広い医療・衛生活動に幹部自衛官として従事している。また、その活躍の場は我が国のみならず、広く国際的な舞台に向けられ、多くの期待が寄せられている。

防衛医科大学校では、国内外においても多様な活動に貢献でき、総合的な初期診断・治療等ができる医官や、専門的技術と豊かな人間性や的確な判断力を兼ね備えた質の高い保健師及び看護師を求めているため、若い皆さんの志に大いなる期待が寄せられている。

## 臨時勤務お疲れ様でした



護衛艦「あしがら」  
海士長 岩本 知穂

受験から入隊までお世話になった広報官や普段関わることのない陸上及び航空自衛官の方々と仕事をすることができ、大変貴重な経験となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で蔓延防止措置等の期間があり、厳しい制限下での広報活動の難しさを身に染みて実感しました。入隊希望の学生に対する面接指導では、答えを教えるのではなく、根拠を示し自ら考えさせる指導を行うことで学生も理解しやすくなるということに気づかされ、自分自身も勉強になりました。今後、部下を指導する際に役立てていきたいです。また、今回の臨時勤務では、相手のニーズを理解し先回りして応えることの大切さを学びました。今後は、周囲の情報に素早く対応し、相手が何を求め、優先順位が高いものは何かというをよく考えて仕事ができるよう努力していきます。

（8月30日から9月24日まで佐世保出張所で臨時勤務）



第22航空群  
大村航空基地隊  
海士長 前田 理名

私が高校生の時、自衛隊入隊に際してお世話になった大村地域事務所において、現役自衛官として臨時勤務できたことにより、広報官の任務の大変さを実感いたしました。特に、多くの場所に張られたポスターの張り替え、募集対象者の自宅への訪問による書類配布や説明など、私が当時していたことを実際に経験したことにより、広報官は自衛隊入隊者にとって身近な存在だと強く感じ、広報官の方々の募集広報に対する熱意を感じました。また、部隊とは異なり、民間の方と接する機会が多いため、交友関係の重要性を改めて認識するとともに、陸上・航空自衛官の広報官と勤務することで海上自衛隊との違いを学ぶ良い経験となりました。今後、機会があれば学校説明会や広報活動に携わり、募集業務に貢献したいです。

（9月1日から9月30日まで大村地域事務所臨時勤務）